

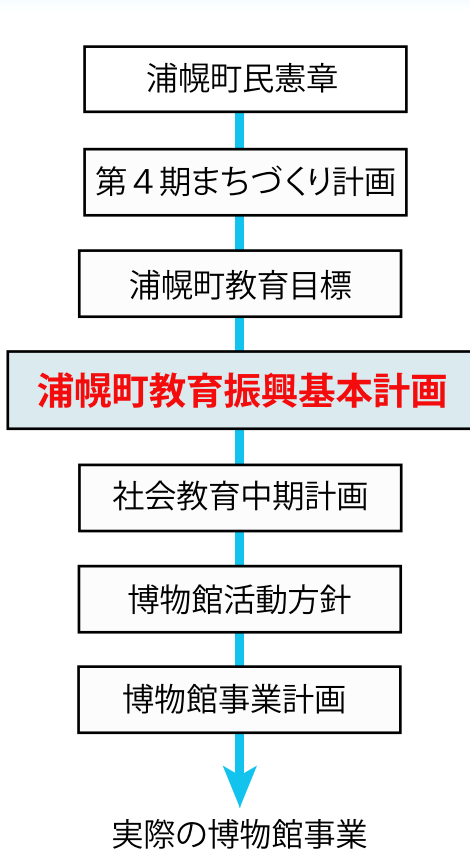
浦幌町立博物館だより

2024(令和6)年2月号

編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎ 015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp



教育振興基本計画と博物館



計画が改定となりました

浦幌町教育委員会では、2024～28年度を施策期間とする「第3期浦幌町教育振興基本計画」を策定しました。教育振興基本計画とは、左のような位置付けとなっており、浦幌町の教育行政における最上位の計画とされています。

今後、教育振興基本計画の改定に伴う「社会教育中期計画」の改定が審議されます。社会教育中期計画のもとで毎年の「博物館活動方針」を定めており、この方針にもとづいて事業計画を立案し、実際の博物館事業が実施されます。

たとえば、博物館に関する予算も、こうした計画における位置付けがあって初めて計上されることとなります。このため、基本計画は浦幌町立博物館の進む方向性を考える上で、重要な計画と言えます。

「博物館の振興」を新設

ところが、従来の教育基本計画の施策項目には、博物館単独の項目がありませんでした。このため、博物館活動の3つの柱である「調査研究」「収集保存」「展示教育」のうち、「展示教育」以外の活動の位置づけが曖昧でした。

また、博物館法の改正により、博物館には文化施設としての新しい活動が加わることになりましたが、従来の計画のままでは、こうした博物館固有の事業に対する位置付けが困難でした。

そこで今期の計画から、新たな施策項目「博物館の振興」を立てました。今後、この新たな基本計画にもとづき、事業の見直しをはかって参ります。下記のQRコードからリンクされていますので、ご一読いただけます。下記のQRコードからリンクされていますので、ご一読いただけます。



(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています！

コロナ関係新聞記事



札幌市白石区にお住まいの田村晋一郎様から、新型コロナウイルス感染症関係の北海道新聞記事のスクラップの寄贈を受けました。2020年1月から2022年10月までコロナ関係の北海道新聞の記事が、30冊のファイルに収められています。

浦幌町立博物館では、現在、国立歴史民俗博物館などと協力して、コロナ関係資料の全国データベースの構築に向けて取り組んでおり、当資料も掲載する予定です。

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

しあわせはこぶ座敷わらし わらびーちゃんの伝言



はせくらみゆき 作・画 / 五日市剛 監修
2008年 とやの健康ビレッジ発行 110頁

座敷わらしは家に幸運をもたらす妖怪ですが、妖怪と聞くと何か恐ろしいものというイメージをお持ちの方も多いと思います。本書に出てくるわらびーちゃんという座敷わらしは、とても読むと幸せな気持ちにさせてくれます。

はせくらみゆきさんは、浦幌出身の画家・作家の方です。はせくらさんの著作が昨年の夏頃から、道内の図書館から当館への相互貸借(他館からの本の取り寄せ依頼)で急増しています。当館でも一人でもはせくらさんの著作を多くの方に借りていただくことを願っております。

【配架場所】

郷土(ゆかりの本)
分類 U726.6ハ

(浦幌町立図書館 司書 山崎菜摘)

2月の博物館お知らせ

企画展

孔版画年賀状展

1月18日(木) 10:00~18:00

2月6日(火)

場所: 博物館特別展示ホール

主催: 浦幌孔版画サークル
後援: 浦幌町文化協会



企画展

ぼくの、わたしの、書き初め展

もみじ子会 主催
浦幌町立博物館 共催

2月10日(土)

2月22日(木)

10:00~18:00

場所: 博物館特別展示ホール



卒業論文大発表会

浦幌のヒグマこんなに調べました 2024

2月11日(日) 13:00~17:00

基調報告 北海道におけるヒグマ管理の課題と行政・地域・市民の取り組み

講演: 佐藤喜和(酪農学園大学教授)

研究発表 7人の大学生・大学院生たち

酪農学園大学野生動物生態学研究室・浦幌ヒグマ調査会・浦幌町中央公民館 共催

(プログラムは上記のリンクをご覧ください)



卒業論文大発表会

主催: 浦幌町立博物館 共催: 浦幌ヒグマ調査会・浦幌町中央公民館・酪農学園大学の動物生態学研究室

浦幌のヒグマ 2024 こんなに調べました!



日時 2024年
2月11日(日)
13:00~17:00

場所 浦幌町立博物館

講演 大学生・大学院生の皆さん
基調報告: 佐藤喜和(酪農学園大学教授)

【講演内容】

北海道におけるヒグマ管理の課題と行政・地域・市民の取り組み

※カメラフラッシュを用いたヒグマの撮影回数および子連れヒグマの年度別とミズナラ産出の関係
※ヒグマ管理計画からの取り組みの紹介
※ヒグマの似顔絵コンテストの開催状況と行動パターン上の多様性の検討
※札幌市東区と浦幌町に生息するヒグマの白眉運動性の比較
※アライグマ駆除活動と動物管理センターの活動状況とアライグマとヒグマ駆除活動の検討
※全道ステールと地域ステールからみたヒグマによる牧草利用の経年変化
※地域住民のヒグマ認識および人とヒグマの関わりから考えるヒグマ対策のあり方(北海道浦幌町を事例に)

野生動物の剥製を増やしていきます

浦幌町立博物館では、2023年度予算から「標本製作委託費」を計上し、野生動物の剥製(本剥製)製作を進めています。このたび、今年度委託分のハシブトガラス、ハシボンガラス、シマエナガ、エゾリスの剥製が委託先である札幌市の株式会社北洋美術工芸より納品され、新着剥製資料として常設展示室で仮公開中です。

これらの剥製には、採集年月日や採集場所などの情報があることから、展示だけでなく標本としても活用できます。当館では今後身の回りで見られる動物の剥製標本を順次揃えて参ります。



奥がハシボンガラス幼鳥、手前がハシブトガラス成鳥。

入館料: 無料

開館時間: 10:00 ~ 18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員: 1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、資料調査等は事前に電話かメールにてお申し込みください。

2月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

休館日: 月曜日・祝日の翌日

2月12日は、博物館は開館しますが図書館は休館です。13日は図書館は開館しますが、博物館は休館です。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車...約1時間
池田駅より普通列車...約30分
釧路駅より普通列車...約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広~浦幌間 1290円(片道)
釧路~浦幌間 1680円(片道)

駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間
釧路市より国道38号線約1時間半
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ: 電話 015-576-2009
〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 (図書館併設・役場となり)
E-mail: info@museum-urahoro.jp / https://museum-urahoro.jp